

第 3 回 ごみ減量市民会議 会議録	
開催日時	令和 3 年 1 月 19 日（火）14：00～16:00
開催場所	湖西市環境センター 2 階 大会議室
出席者	平井委員長、寺内委員、疋田委員、前田委員、後藤委員 藤井委員、松浦委員、岡本委員、鳥居委員（順不同）
事務局	川上環境部長、山本廃棄物対策課長、木下課長代理、三浦、橋本、松本
傍聴者	なし
会議概要	1 開会 2 施設見学 3 前回の議事録の確認 4 質問回答 5 委員長あいさつ 6 議事 （1）資源物の排出方法について （2）環境センター搬入車両の混雑対策について 7 その他 ○第 4 回 開催日時 令和 3 年 3 月 2 日（火）14：00～ ○事務局からの連絡事項 8 閉会
記録の方法	発言者の要点記録

1. 開会

2. 施設見学

事務局の案内により環境センター内の施設や資源物の処理工程を見学。
見学コース（施設内通路から確認）
計量棟→焼却施設→ごみピット→プラットホーム→中央操作室→手選別ライン

3. 前回議事録の確認

廃棄物対策課長 前回会議の議事録について、委員より修正の申し出が1件ありました。申し出の採否は委員長預かりといたします。

4. 質問事項

廃棄物対策課長 前回の会議後に寄せられた質問はありませんでした。その他分かりにくかったことなどでも構いませんので、今後も遠慮なくお申し出ください。

（意見・質問はなし）

5. 委員長あいさつ

委員長 新年早々お集まりいただきありがとうございます。先日の菅総理の所信表明の中で、グリーン社会の構築という話があり、社会全体でも環境問題への意識が高まっています。今日の環境問題を考えるうえでの3つの柱は、低炭素型社会の構築、循環型社会の構築、自然共生型社会の構築と言われていますが、この市民会議での議論は、循環型社会の構築に繋がるものと考えています。

湖西市においては、令和6年2月から環境センターで可燃ごみの焼却の再開を予定しているということで、まさに変革の時を迎えています。今回の会議でも更に議論を行い、皆様の貴重なご意見をいただきたいと思います。

6. 議事

（1）資源物の排出方法について

委員長 議事（1）について事務局から説明をお願いします。

事務局 《資料3-① p1に基づき説明》

委員長 今回の会議でも、委員の皆様から多くの意見を伺いたいと考えていま

す。現状と課題についての説明に対して、何か意見はありますか。

委員

湖西地区と新居地区で資源物の出し方が違うことについて、それぞれメリット、デメリットがあるが、地域としてはごみステーションの設置場所の確保に困っている状況である。

市としてはコストや場所等を考慮したうえで市内の資源物の出し方を統一したいと考えているとのことだったが、現段階でどのような方式がよいと考えているのか。

委員長

事務局の方から説明をお願いします。

事務局

市としては、資源物回収用の大型コンテナを常設することはコストや管理面で課題があると考えています。小型コンテナも同様に強風で飛ばされるなどのリスクがあるので、資源物をポリ袋に入れてもらい、それをごみステーションで収集する方法が良いのではないかと考えています。このことについて、皆様のご意見をいただきたいです。

委員

新居地区に住んでいるが、指定日が決まっていることで、住民は指定日以外にごみを出さないようメリハリをつけている。湖西地区のように、いつでも出せる制度は確かに便利だが、ごみ減量の意識が低下してしまう恐れがあると思う。特に長期連休明けなど、大量にごみが出る時はごみ出しマナーに関して課題を感じる。

委員長

資源物の排出方法についての論点は次の2点かと思います。

- ・ごみステーション制か、資源物回収拠点制か。
- ・ごみ出しの指定日を定めるのはどうか。

このことについて他にご意見がある方はいますか。

委員

燃やせるごみなどは今の頻度で問題はないが、仕事をしている立場としては、出し忘れなどもあるので資源物の収集日が月に一、二回になると厳しい。収集の頻度が多ければ問題ないが、常時出せるほうが当然ありがたい。

委員

私は湖西地区に住んでいる。ごみの出し忘れや子どもの世話などもあるので、資源物の収集曜日や時間が決まってしまうと出すことが大変になると思う。現在のいつでも出せる制度は助かっている。

事務局

近くのステーションでも資源物を出せるようにする点については便利

になるとお考えでしょうか。

委員 ごみステーションに多くの人や車が朝の時間に集中することは、子どもの通学等もあるので心配。また、常時出せないにしても月二回の頻度では厳しい。

委員 私は新居地区に住んでいるが、現状では特に困っていない。
それより湖西地区で利用している鉄製のごみ籠が立派で便利そうだが増やすことはできないか。

委員 市内業者でも同様の鉄カゴを作ることができる業者はいるので依頼してはどうか。

事務局 湖西地区に多く設置している鉄製のごみ籠は特注品で現在は修理する程度で新たに設置することはしていません。

委員 鉄パイプと網でできているごみ籠も市内で見かけるがそれはどうか。

事務局 地元自治会の要望により、市がそのようなごみ籠を作成することもあります。市内でごみ籠の形態を統一する考えは今のところありません。ごみステーションの管理については、今後の市民会議のテーマとなっているので、その際もご意見をお願いします。

委員 西部地域センターの資源物回収拠点をよく利用するが、常設のコンテナがすぐいっぱいになっている。マナー面を考えると、いつでも出せるのもどうかと思う。ごみが集まるかどうかは結局場所によると思う。

委員長 皆様、資源物の排出方法についてご意見をありがとうございます。それでは p2 以降の説明を事務局からお願いします。

事務局 《資料 3-① p2 に基づき説明》

委員長 市から基本方針を示されましたが、何かご意見はありますか。
市の方針によると、豊橋市の収集体制に近いものとするということです。

事務局 そのとおりです。

委員 ペットボトルを捨てる際に、ポリ袋に入れてごみステーションに持って行き、網袋に移し替える作業をしているので、ポリ袋でそのまま出せる方式は手間が省ける。前回の会議で、網袋の口を開くことが子どもや老年寄りの負担となっている話も出ていたので、出しやすくなり良いと思う。

- 委員 ペットボトルや缶はかさばりやすいので、圧縮して出す道具を市から配布してもらえると場所も取らず便利なのではないか。
- 委員長 各家庭でペットボトルや缶を潰して出すより、処理施設の機械での圧縮の方が効率的と聞いていますが、湖西市ではどうですか。
- 事務局 ペットボトルや缶は収集後、プレス機で圧縮して大きな塊にしていますが、あらかじめ潰されていると塊の組付けが悪くなることがあります。家庭で軽く潰す程度であれば問題ありませんが、道具でしっかり潰されたものが増えると、処理に影響が出る恐れがあります。
- 委員 先週今週とごみ当番をしていたが、もうしなくてもいいくらいごみ出しマナーが良くなっている。曜日を決めてごみカレンダーで周知するのが効果的だと思う。
- また、ペットボトルを出す時にラベルを外しにくい製品もあるので困ることがある。
- 委員 最近ではラベルが無い製品や、ペットボトルにプリントをしている製品も出てきている。
- 委員長 皆様、ご意見ありがとうございました。
- それでは次の議題について事務局から説明をお願いします。

(2) 環境センター搬入車両の混雑対策について

- 事務局 《資料 3-② p3～5 に基づき説明》
- 委員長 それでは環境センターの混雑対策について、何か意見があればお願いします。
- (意見・質問はなし)
- 委員長 それでは引き続き事務局から追加説明をお願いします。
- 事務局 《資料 3-② p6 に基づき説明》
- 委員長 事務局より他市の例をいくつか紹介してもらいましたが、事務局からその他提案事項などがありますか。
- 事務局 例えば環境センターへ搬入する車両を事前予約制にするというのはどうでしょうか。その際の予約方法として、インターネットからの予約は便利だとお考えになりますか。

委員長	電話やインターネットでの受付だとお年寄りや不慣れな方は難しいのではないのでしょうか。
委員	同居の高齢者がいるが、インターネット予約の利用は難しいと思う。
委員	高齢者の状況を見ていると、ごみの持ち込みの予約制は厳しいと感じる。現状は一人暮らしの高齢者が多く、自力での予約は難しい。現状ごみカレンダーの字を見ることでさえ困難に感じている人もいると思う。
委員長	湖西市では粗大ごみの戸別収集はどのように受け付けていますか。
事務局	現在は電話やメールまたは環境センターの窓口で受け付けています。
委員長	高齢者については電話での申し込みができる粗大ごみの戸別収集を利用してもらうことになりそうですね。
委員	インターネットだと出したい粗大ごみの説明も難しいと感じる。画面操作も難しい。
委員長	一般の方のごみの持ち込みを減らすことや高齢の方にも利用しやすい方法はないのでしょうか。
委員	粗大ごみを捨てる際に、環境センターへの持ち込みと粗大ごみ戸別収集の両方を利用したことがあるが、電話での申し込みは大変だった。しかし納付書による収集料金の納付や、粗大ごみ回収シールを貼って出しておくことで収集日の立会いが不要であったことは便利だった。お年寄りに対しては立会いによる収集料金の徴収制などがよいのではないか。
委員	シルバー人材センターを利用してはどうか。昔、新居町の取り組みでシルバー便利屋組合という事業があった。
事務局	料金徴収の仕組みや粗大ごみの収集運搬について法律上の制限もありますが、民間団体との協力については他市事例等を研究していきたいと思います。
委員	予約制は不便と感じるが、資料P6の対策事例2にあるように、最低料金を設定することは有効だと思う。
委員	粗大ごみを捨てる際にボランティアを募っての収集体制なども検討してもよいのではないか。
委員長	その他、事務局から委員の皆さんに質問したいことなどはありますか。
事務局	紹介した他市での取り組み事例について、どのように感じましたか。
委員	料金による手段である対策事例4が一番効果的だと思う。

- 委員 対策事例 2 の方法が効果的だと思う。持ち込むごみ量を最低料金ギリギリの重量にまとめようとするはず。
- 委員 私も対策事例 2 が効果的だと思う。
- 委員 少量のごみを持ち込んだことがあるので、重量による料金徴収制の対策事例 4 がよい。
- 委員 私も対策事例 2 が良いと思う。
- 委員 ごみを捨てるのにもお金を取られる意識を持ってもらう必要があると思う。粗大ごみはなかなか出るものではないので事例 4 で問題はないと思う。そうすれば市民も粗大ごみを減らしたり、できるだけごみステーションに出そうと努力するはず。
- 委員長 皆様、貴重なご意見をありがとうございました。いただいたご意見を参考に、事務局は検討を進めてください。本日の議論は以上といたします。

7. その他

- 事務局 (1) 次回開催予定について
日 時 : 3/2 (火) 14 時～
開催場所: 湖西市環境センター2 階 大会議室
- (2) 事務局からの連絡事項
今日の会議内容に関して質問等があれば、1 月 26 日 (火) までメールかファックスで受け付ける。

8. 閉会